

令和4年度 社会教育委員会（第2回） 議事要旨

◇日 時

令和4年7月15日(金) 午後7時～午後9時05分

◇会 場

生涯学習センター 2階 学習室2

◇出席者

【委員】土屋委員長、大島副委員長、勝又委員、鈴木委員、小澤委員、
小林委員、奥村委員、中川委員、小田委員、志田委員

【事務局】古谷生涯学習課長、齊藤係長、渡邊主幹

◇会議次第及び内容（○は委員の発言）

1. 開 会 （事務局）

2. 委員長あいさつ

新型コロナ感染者数が増加してきた。昨年度は蔓延防止措置が出て会議の中止や開催時間の短縮などがあり充実した会議開催が難しかった。今年度は任期2年目の年で3月には答申書を提出したい。ズーム開催や書面会議などの方法も考えながら答申書をまとめていきたい。まずはこのあたりでコロナが終息することを願っている。

本日は、前年度の経過報告と今年度の研究計画について提案し、その後、学校教育課の小濱指導主事から1年を振り返っての裾野市のコミュニティ・スクールについてお話いただく。充実した会議にしたい。

3. 報告事項

- ・各種委員会委員会の会議報告

特になし

（協議事項は委員長が進行）

4. 協議事項

- ・学校を核とした地域づくりのための環境整備

(1) 令和3年度の経過確認と令和4年度の研究計画の検討について
(委員長より説明)

地域活性化や地域課題の解決のために令和2年度は地域コーディネーターの設置を提案したが、財政上の問題に阻まれ途方に暮れていたところにコミュニティ・スクールの話が持ち上がった。学校を核とした地域づくりのためコミュニティ・スクール制度が役立つのではないかとということで話し合ってきた。

前年度は、地域と学校が関わって実施していることと、実施していることが目標とする姿についてまとめてきた。今年度は、本日小濱先生に裾野のコミュニティ・

スクールの現状をお話いただき、実現に向けてグループワークで意見が出るといい。10月に地域学校協働活動の推進のために必要な体制を整備するための環境整備について、11月に放課後子ども教室の実施を目指す中で必要な体制を整備するための環境整備について検討、協議する。この中で昨年できなかった実現に向けての検討も行う。12月の市民活動の集いは実行委員会のなかで内容を協議し皆様に提案したい。1月に市民活動の集いを受けての意見交換、3月上旬には答申書を完成させたい。

意見があればお願いしたい。

意見なし。

このように進める。

(2) 裾野市のコミュニティ・スクールについて (裾野市教育委員会学校教育課 指導主事 小濱伸哉 様)

4月から市内小中学校をコミュニティ・スクールにすることで歩み始めた。

コミュニティ・スクールという言葉が新しい言葉であることやコミュニティという言葉がイメージが広がる言葉なので、それぞれイメージしていることが違うと担当として感じている。裾野市としては、国、県と同じだが、学校運営協議会という会議体を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいる。

昨年度4つの学校で学校運営協議会を立ち上げ、その中での課題や取り組みの成果を生かして残りのすべての小中学校に学校運営協議会を設置した。

委員は、校長、保護者としてはPTA役員が多い。地域の方としては区長や民生委員、役はないけれど地域のことに精通している方など、地域によって違う。スクールコーディネーターに入っていたいただいているところも多い。

委員は学校が選んだ方に市が特別職の公務員として委嘱して、報酬を支払っている立場の方になる。

コミュニティ・スクールは2つの要素がある。

地域の方がボランティアで学校のことを手伝ってくれているというのが以前からあった。こういう人たちのまとまりを地域学校協働活本部といていた。

今回、学校運営協議会をつくり地域学校協働活本部と連携してよりよい学校づくりにつなげる仕組み。

つなぎ役としてスクールコーディネーターがもともといた。これに加えてCSディレクターを新たに配置。学校のなかにおいて会議体の運営をしている。学校、教員の思いを知ってスクールコーディネーターにつなぐ、自ら地域と連携し学校のサポート役。

学校と地域が一体となって同じ目標を持ち、学校と地域が子供たちのためにできることを考えていく。地域とともに楽しいにこだわっていきたい。

先行導入の4校の校長に聞き取り

- ・委員やCSディレクターの選定に苦慮した
- ・校運営協議会やCSディレクターがどのような役割を担うか理解させるのが大変だった。(これは、今も浸透していない。)

よかったこと

- ・地域が学校を思うようになり協力体制が強くなった
- ・応援してくれる人が増え、課題が少しずつ解決に向かっている
- ・子どもと大人がいつも笑顔で活動している

CS ディレクターの役割

- ・学校運営協議会の運営
- ・情報発信
- ・地域学校協働活動の活性化支援、調整
- ・謝金の予算は週 10 時間

これからの学校の役割

- ・学校のなかでいろんな大人に出会うチャンスを提供する

教員は 3.4 年すると移動してしまう。5 年たつと全員変わってしまう。
地域の大人はずっと子供たちの近くにいられる
長く続けることに意義がある。

課題

- ・学校に地域の教育力をどう組み込むか
- ・学校、地域にあったコミュニティ・スクールの形をどう作るか
- ・地域、保護者にコミュニティ・スクールをどう共有していくか
- ・学校と地域の取り組みをどのように連携させて充実させていくか
- ・ボランティアを探すことが大変なか、地域学校協働活動をどのように充実させていくか社会教育委員会のご意見いただけたらと思う。いろいろな方のご意見を伺いながら充実させていきたい。

(3) グループワーク及び小濱指導主事との意見交換

○社会教育委員会が地域づくりをコミュニティ・スクールにからめている理由は、地域とともにある学校づくりの話と学校を核とした地域づくりがあるから。先生の話の中に地域づくりの話がない。地域の方も先生方もコミュニティ・スクールが学校のお手伝いを増やしているというイメージになっている。地域づくりをどう考えているか。

→地域とともにある学校づくりの側面と学校を核とした地域づくりについては勉強させていただいている。地域づくりについて語れない理由としては、事例に出会えていない。地域づくりを学校教育課で行うのは難しい。学校教育目線でやるとこうなる。地域づくりに向かっていたいと考えている。学校教育課だけでは進められない理想がある。

学校教育課、生涯学習課、コミュニティ課などとコミュニティ・スクールの仕組みのもと、自分たちになにができるか語り合っていたらいい、進められたらいいと考える。

東小学校HPにあるような地域で子どもを育てる取り組みがあると子どもたちも幸せだと考えるし、多くの地域でこういうことが芽生えてくれるといいと考えるが、まずは、市内の多くの学校が取り組めることを考えている。

社会教育委員会から実践をだしていただき本当の意味で連携や意見交換ができ

てくるとコミュニティ・スクールに魅力を感じてくれる方が増えると思う。

○地域学校協働本部の活動の実状についてと学校運営協議会と地域学校協働本部2つの連携、つながりの観点からなにか教えていただきたい。

→連携はスクールコーディネーターだけでは難しい。CSディレクターが必要。予算がなく、十分な時間がとれてない。CSディレクターの必要性を訴えていきたい。

地域学校協働本部はいろんなものを含んでいる。スクールコーディネーターは学校支援まで。スクールコーディネーターにその時間は確保されていない。

すそのん寺子屋の企画運営は学校の教諭が行っている。放課後や夏休み中のことなので、本来学校のやることではない。

放課後子ども教室や地域行事をふくめて地域学校協働活動と呼んでいる。

だから、地域学校協働本部を誰が担っていくのか裾野市として考えなければならぬ。スクールコーディネーターにやってもらうなら、もっと補償していかなければならない。人数だったり、謝金だったり。今のままでは担えない。このあたりを社会教育委員会からご意見いただきたい。

○スクールコーディネーターとCSディレクターの仕事を区別しているか

兼任していたり、二人置いていたり地域によって違い役割は一部同じことをやっている両方とも地域のつなぎ役。CSディレクターは学校運営協議会の運営、情報発信を行っている。

○地域の声、意向を学校運営協議会に反映させたい。他部署との連携を考えていけないか

→考えていきたい。

学校運営協議会の研修も必要。

○学校運営協議会は学校運営の最高意思決定機関。入学式や卒業式にはどちら側に座るのか。

→主催者側であるはず。東小では、地域へのお願い文は連名でだしている。まだその疑問に至らない学校もある。

委員長

コミュニティ・スクールと地域づくりとの関係の意見を深めていきたい。

5. その他

- ・市民活動の集い（実行委員の選出）について
委員長、副委員長、小田委員、志田委員、4名
実行委員で内容を協議し提案する。
- ・東部地区社会教育委員等研修会について
8/19開催の研修会。出欠は7/25（月）が提出期限。
- ・静岡県社会教育委員連絡協議会個人負担会費について
500円/1人を集金する。8/19（金）までに事務局へ提出を。
- ・その他

生涯学習課長より、次期生涯学習センターの指定管理について、仕様書の方針について説明。

委員より生涯学習センターの運営等に意見を求める機会ほしいと意見あり。
生涯学習課と連携してすすめる事業については、意見を求めたいと回答。

・ 次回の開催日について

10月3日（月）19:00～ 生涯学習センター 2階 学習室1 において開催

9. 閉 会（大島副委員長）